



2020年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年5月11日

上場会社名 株式会社Amazia
 コード番号 4424 URL <https://amazia.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 佐久間 亮輔
 (氏名) 神津 光良
 TEL 03-6427-8856

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の業績(2019年10月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	3,414	159.7	528	192.6	524	220.4	357	181.3
2019年9月期第2四半期	1,314		180		163		126	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	53.63	51.55
2019年9月期第2四半期	20.02	19.27

- (注) 1. 2018年9月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2019年9月期第2四半期の対前年同期増減率は記載しておりません。
 2. 2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
 3. 2019年9月期第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社株式は2018年12月20日に東京証券取引所マザーズ市場に上場しており、新規上場日から2019年9月期第2四半期累計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	2,385		1,371			56.6
2019年9月期	1,613		965			59.8

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 1,350百万円 2019年9月期 965百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		0.00		0.00	0.00
2020年9月期		0.00			
2020年9月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,340	116.7	900	116.4	894	125.7	608	100.7	91.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期2Q	6,693,800 株	2019年9月期	6,604,600 株
期末自己株式数	2020年9月期2Q	224 株	2019年9月期	224 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期2Q	6,658,380 株	2019年9月期2Q	6,341,202 株

(注) 当社は、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2019年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの影響により、先行き不透明な状況が一層強まっております。

このような状況の中、当社が属する電子書籍市場規模は、インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2019」によると、2018年度の電子書籍市場規模は2,826億円（内、当社が所属する電子コミック市場は、全体の84.5%にあたる2,387億円を占める）と推計され、2017年度の2,241億円から26.1%増加し、2023年度には2018年度の約1.5倍の4,330億円程度に拡大すると予測されています。また、2018年度の無料マンガアプリ広告収益市場規模は、167億円と推計され、2017年度の100億円から67億円（前年比67.0%増）増加しました。2019年度には、2018年度の約1.5倍の250億円程度に拡大すると予測されています。しかしながら、電子書籍のビジネスモデルの多様化や成熟によって電子書籍市場が徐々に飽和していくことも想定されます。

このような経営環境の中で、当社は「マンガBANG!」の主力コーナーであるフリーミアムモデル（注）のコーナーにおいて、旧作を中心にマネタイズを実現することにより、出版社との信頼関係を更に深め、大手出版社の人気作品の配信数を増加することで、他社サービスとの徹底的な差別化を進めており、アプリでマンガを楽しむユーザーは、引き続き増加傾向にあります。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,414,286千円（前年同四半期比159.7%増）となりました。利益面については、積極的な広告宣伝費用等を吸収し、営業利益は528,913千円（前年同四半期比192.6%増）、経常利益は524,204千円（前年同四半期比220.4%増）、四半期純利益は357,118千円（前年同四半期比181.3%増）となりました。

なお、当社はマンガアプリ事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。

（注）フリーミアムモデル：基本的なサービスはすべて無料で提供し、一部の機能を有料で提供するビジネスモデル。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の状況

（資産）

当第2四半期会計期間末における総資産は2,385,488千円となり、前事業年度末に比べ772,232千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が361,161千円、売掛金が377,315千円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第2四半期会計期間末における負債合計は1,014,004千円となり、前事業年度末に比べ365,756千円増加いたしました。これは主に、買掛金が103,669千円、未払金が156,104千円、未払法人税等97,271千円が増加したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産は1,371,483千円となり、前事業年度末に比べ406,475千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が357,118千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ361,161千円増加し、1,200,945千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは345,204千円の収入（前年同四半期は90,927千円の収入）となりました。主な要因は、売上債権の増加377,315千円、法人税等の支払額91,728千円により資金が減少した一方で、税引前四半期純利益の計上524,204千円、仕入債務の増加103,669千円、未払金の増加156,104千円により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは9,103千円の支出(前年同四半期は60,036千円の支出)となりました。主な要因は、敷金及び保証金の差入による支出8,283千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは25,061千円の収入(前年同四半期は328,130千円の収入)となりました。主な要因は、新株予約権の行使による株式の発行による収入28,067千円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期(2019年10月1日~2020年9月30日)の業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2019年11月6日の決算発表時の予想を変更しております。詳細につきましては、本日、2020年5月11日に公表いたしました「2020年9月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想につきましては、現在において、新型コロナウイルス感染症による経済への影響を含む入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

今後、業績予想に変更があった場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	839,783	1,200,945
売掛金	647,888	1,025,203
その他	8,901	17,487
流動資産合計	1,496,573	2,243,636
固定資産		
有形固定資産	13,178	11,609
投資その他の資産		
敷金及び保証金	63,677	70,996
その他	39,826	59,245
投資その他の資産合計	103,503	130,241
固定資産合計	116,682	141,851
資産合計	1,613,255	2,385,488
負債の部		
流動負債		
買掛金	191,313	294,982
1年内返済予定の長期借入金	3,492	3,492
未払金	259,165	415,269
未払法人税等	101,503	198,775
引当金	-	6,000
その他	89,568	94,026
流動負債合計	645,042	1,012,545
固定負債		
長期借入金	3,205	1,459
固定負債合計	3,205	1,459
負債合計	648,247	1,014,004
純資産の部		
株主資本		
資本金	338,524	352,609
資本剰余金	334,810	348,895
利益剰余金	291,929	649,047
自己株式	△256	△256
株主資本合計	965,007	1,350,296
新株予約権	-	21,187
純資産合計	965,007	1,371,483
負債純資産合計	1,613,255	2,385,488

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
売上高	1,314,596	3,414,286
売上原価	768,727	2,121,798
売上総利益	545,868	1,292,487
販売費及び一般管理費	365,102	763,574
営業利益	180,765	528,913
営業外収益		
受取利息	1	5
受取手数料	-	335
営業外収益合計	1	340
営業外費用		
支払利息	69	44
株式交付費	6,439	102
株式公開費用	6,938	-
新株予約権発行費	-	2,860
為替差損	1,708	2,042
その他	1,983	-
営業外費用合計	17,139	5,049
経常利益	163,628	524,204
税引前四半期純利益	163,628	524,204
法人税等	36,690	167,086
四半期純利益	126,937	357,118

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	163,628	524,204
減価償却費	1,222	2,388
差入保証金償却額	1,786	964
賞与引当金の増減額(△は減少)	-	6,000
受取利息	△1	△5
支払利息	69	44
株式交付費	6,439	102
株式公開費用	6,938	-
株式報酬費用	-	19,587
新株予約権発行費	-	2,860
売上債権の増減額(△は増加)	△197,501	△377,315
前受金の増減額(△は減少)	10,320	27,106
仕入債務の増減額(△は減少)	56,652	103,669
未払金の増減額(△は減少)	60,689	156,104
その他	△6,747	△28,742
小計	103,497	436,969
利息の受取額	1	5
利息の支払額	△69	△41
法人税等の支払額	△12,501	△91,728
営業活動によるキャッシュ・フロー	90,927	345,204
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,122	△820
敷金及び保証金の差入による支出	△46,914	△8,283
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,036	△9,103
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,746	△1,746
株式の発行による収入	338,814	-
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	28,067
その他	△8,938	△1,260
財務活動によるキャッシュ・フロー	328,130	25,061
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	359,020	361,161
現金及び現金同等物の期首残高	239,177	839,783
現金及び現金同等物の四半期末残高	598,198	1,200,945

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、マンガアプリ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、2020年2月14日開催の取締役会決議に基づき、2020年4月1日付で株式分割を行っております。

1. 株式分割の目的

当社株式の投資単価当たりの金額を引き下げることにより、投資しやすい環境を整え、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2020年3月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたしました。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	3,346,900株
今回の分割により増加する株式数	3,346,900株
株式分割後の発行済株式総数	6,693,800株
株式分割後の発行可能株式総数	24,000,000株

(3) 分割の日程

基準日公告日	2020年3月12日
基準日	2020年3月31日
効力発生日	2020年4月1日

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響については、「サマリー情報」に記載しております。